Zscaler Digital Experience

エンド ユーザーに優れた デジタル エクスペリエンスを

データシート

Zscaler Digital Experience (ZDX) は、ネットワーク オペレーション部門とサービス デスク部門がエンド ユーザーの視点からデジタル エクスペリエンスを監視できるようにし、パフォーマンスの最適化とアプリ、ネットワーク、デバイスの問題の迅速な解決を可能にします。

クラウド化とモバイル化で 変化したモニタリングの要件

クラウドやモビリティーへの取り組みが組織で急速に進められ、場所を問わない働き方が普及したことで、IT 部門はモニタリングの新たな課題に直面しています。アプリケーションはデータ センターからクラウドに移行し、ハイブリッド リモート ワークによってさまざまな場所からアクセスされるようになっています。その結果、IT 部門は基盤となるインフラやテクノロジー スタックを制御できなくなり、ユーザー エクスペリエンスに対するエンドツーエンドの可視性が失われつつあります。しかし、SaaS やクラウド アプリケーションの可用性、自宅の Wi-Fi 問題、ネットワーク パスの機能停止、ネットワークの輻輳などから生じるエンド ユーザーのパフォーマンス問題を特定し、診断することは決して簡単ではありません。

現在多くの組織で見受けられるのが、監視ツールをそれぞれ別の IT 部門が調達して管理するというケースです。こうした個別ツールの増加は情報のサイロ化を生み出すばかりか、ツール間でコンテキストが共有されないため、ユーザー エクスペリエンスが断片的にしか可視化されません。また、トラブルシューティングに要する時間も長くなります。他にも、データ センター用に最適化された個別の監視ツールは、インターネット全体にわたるエンド ユーザーのパフォーマンス問題を検出、トラブルシューティング、診断するうえで可視性のギャップを引き起こします。

組織にもたらすメリット

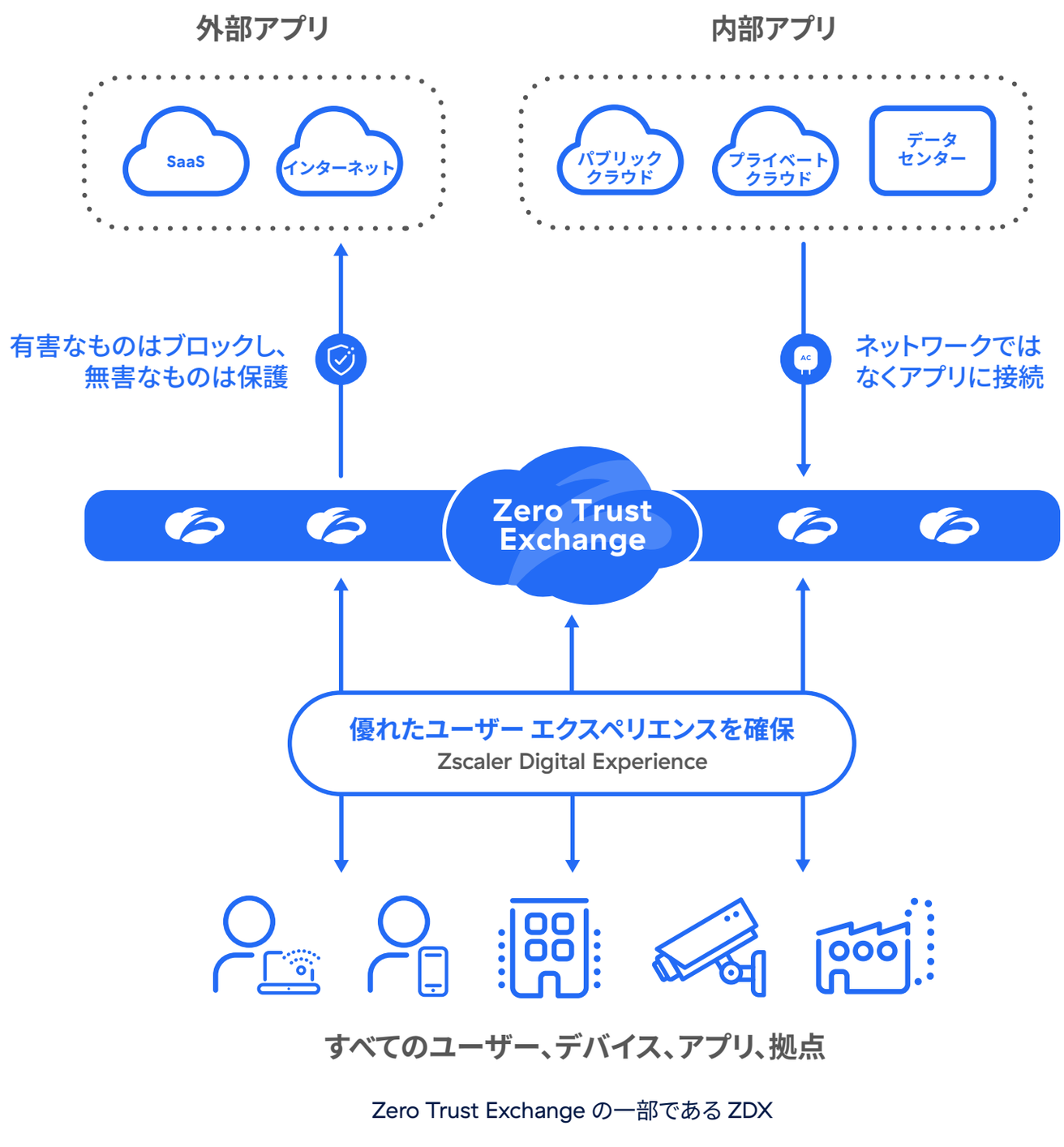
- セキュリティ、ネットワーク、ヘルプ デスクの各部門のアジリティーとコラボレーションを強化するとともに、ユーザー エクスペリエンスの問題をトリアージして解決します。
- Zscaler クラウドが提供するより優れたユーザー エクスペリエンスと高速かつセキュアで信頼性の高い接続により、生産性が向上します。
- 個別の監視ソリューションの複雑さとコストを削減します。
- すべての Zscaler サービスに対して同一の軽量エージェントを用いることで、運用を簡素化します。

ハイブリッド ワークのデジタル エクスペリエンスを監視するには、最新の動的なアプローチが求められます。IT 部門は、さまざまな場所で働くユーザーの視点から、それぞれのデジタル エクスペリエンスを継続的に監視、測定する必要があります。従来の監視ツールはデータ センター中心のアプローチを採用しているため、ユーザー デバイスから直接ではなく、固定された場所からメトリクスを監視、収集します。このアプローチでは、ユーザーのデバイス、ネットワーク パス、アプリケーションに基づいてパフォーマンスを一元的に把握することができません。

Zscaler Digital Experience の画期的なアプローチ

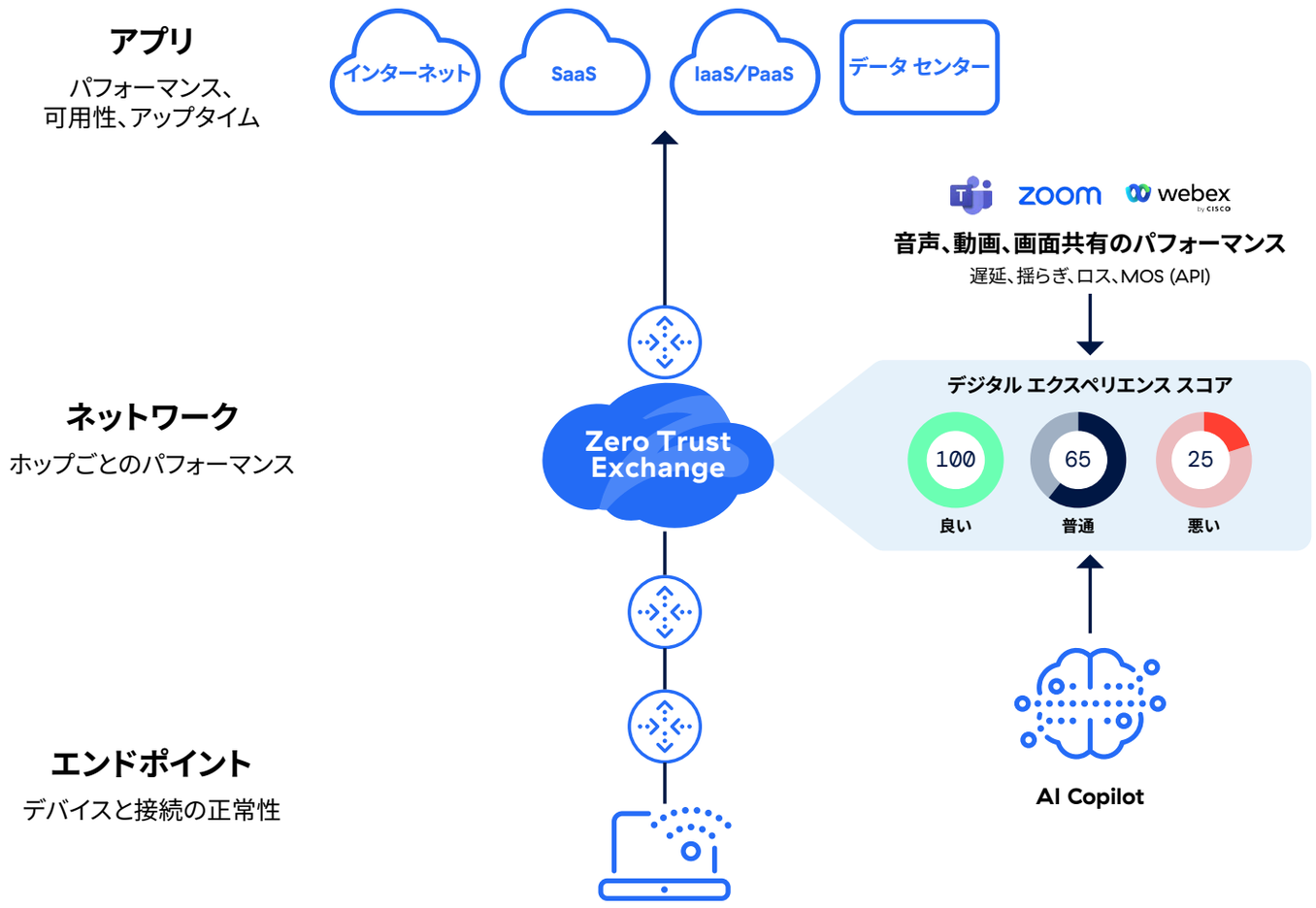
Zscaler Digital Experience (ZDX) は、Zscaler クラウドからサービスとして提供される AI 活用型のデジタル エクスペリエンス モニタリング ソリューションです。場所に左右されることなく、あらゆるユーザーやアプリケーションのエンドツーエンドの可視性と、エンド ユーザーまたは組織のパフォーマンス問題のトラブルシューティングを提供します。また、エンド ユーザーのデバイス、ネットワーク、アプリケーションのパフォーマンス問題に関するインサイトを提供し、ネットワークやセキュリティ、サービス デスクの各部門が継続的に監視できる体制を実現します。

ZDX は Zscaler Client Connector と Zscaler Zero Trust Exchange を活用して、エンド ユーザーや顧客の視点からアプリケーションを積極的に監視します。アプリケーションの可用性、応答時間、ネットワークのホップごとのパフォーマンス メトリクスのほか、デバイスの構成、CPU、メモリー使用率、プロセス情報、デバイス イベントなどのデバイスの正常性メトリクスを継続的に収集および分析します。これにより、ネットワーク オペレーション部門やサービス デスク部門はエンド ユーザー エクスペリエンスの問題だけでなく、アプリケーションやサービスの問題を予防的に特定して解決できるため、時間を節約すると同時に中断のない可視性を実現できます。



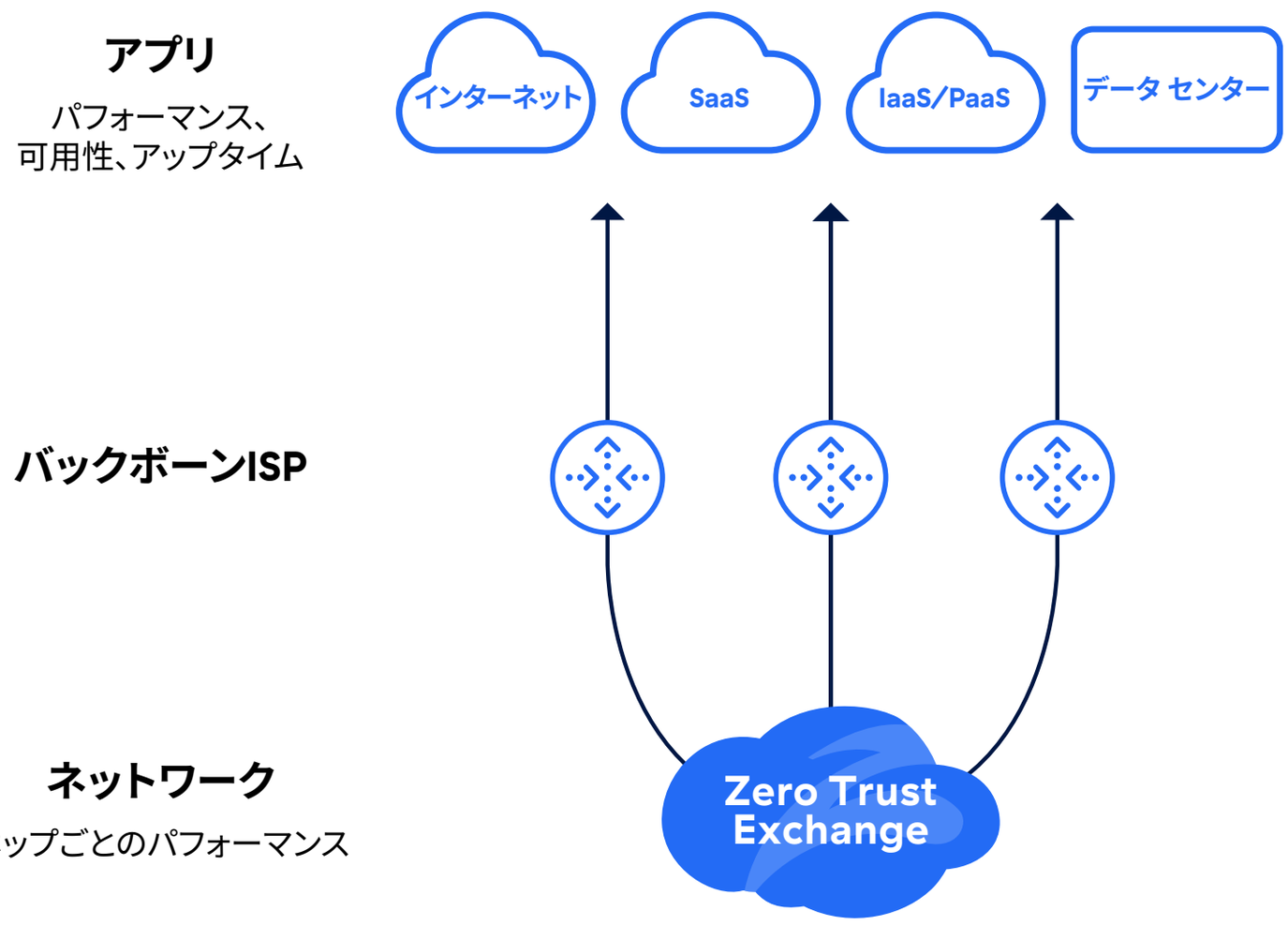
Zero Trust Exchange の一部である ZDX

©2025 Zscaler, Inc. All rights reserved.



1. Zscaler Client Connector を展開（未展開の場合）
2. すべてまたは選択したユーザー グループに対して ZDX を有効化
3. 監視するプライベートアプリとクラウドベースのアプリを選択し、プローブを構成
4. ユーザー エクスペリエンスに関するインサイトを確認

サイロ化した監視を統合する ZDX



1. Zscaler Managed Monitoring を有効化
2. 監視するアプリまたはサービスを選択
3. エンドユーザーのデバイスを必要とせずに、アプリの可用性とパフォーマンスを予防的に監視

Zscaler が管理するデータ センターからアプリの可用性とパフォーマンスを監視

©2025 Zscaler, Inc. All rights reserved.

主なユースケース

ハイブリッド ワーク エクスペリエンスの監視

ハイブリッド ワークの普及によって、チケットの解決に要する時間が 30% 増加しています。ユーザー エクスペリエンスに影響を与える問題を検出し、平均解決時間を短縮することで、従業員がどこにいても高い生産性を維持できます。

UCAAS (UNIFIED COMMUNICATIONS AS A SERVICE) の監視

Metrigy の調査によると、2030 年までに 75% 以上の企業が UCaaS を使用して通話や会議、メッセージのやり取りに対応するようになります。アプリケーション、ネットワーク、デバイスの正常性のほか、Microsoft Teams、Zoom、Cisco Webex での音声、動画、共有の品質を統合的に把握して最適なエクスペリエンスを確保することが、従業員の生産性を維持する鍵となります。

ゼロトラストの可視性

ESG の調査によると、組織の 66% がゼロトラストの目標達成に向けてデジタル エクスペリエンス モニタリング (DEM) に投資しており、92% がエンドツーエンドの可視性と予防的対応には DEM が不可欠だと考えています。

SAAS アプリケーションの SLA の監視

従業員の生産性と業務の継続性は、Microsoft 365 や Salesforce などの重要なアプリのパフォーマンスや可用性に大きく依存しています。SaaS ベンダーに SLA 順守を徹底させることで、組織の円滑な運営を維持し、契約どおりにサービスが提供されない場合に生じる損失を未然に防止できます。さらに、デジタル サービスを提供する企業には、SLA で定められたパフォーマンスと可用性の基準を確実に順守することが求められます。

メリット

ユーザー エクスペリエンスの低下をいち早くキャッチ

アプリケーション、ネットワーク、デバイス全体にわたるすべてのユーザーのデジタル エクスペリエンスをリアルタイムで可視化し、ユーザー エクスペリエンスの問題を迅速に特定します。また、Wi-Fi、ISP、エンドポイント デバイス、データ センターの問題を早期に検出して深刻化を防ぐほか、ネットワーク遅延やパケット ロス、影響を受けるユーザー数などの主要な指標を詳細に可視化し、問題の重大度と範囲を定量化します。さらに、メールや PagerDuty といったツールによるアラートを活用し、ユーザー満足度の低下を早期に察知し、積極的に問題に対処することで運用効率を向上させます。ユーザー満足度スコアは全体表示とフィルタリング表示に対応しており、すべてのユーザーを対象にエクスペリエンス低下の根本原因をすばやく特定し、問題の早期解決につなげます。

パフォーマンスの問題を速やかに解決

AI を活用した診断によりパフォーマンスの問題解決を最適化し、シームレスなユーザー エクスペリエンスを確保するとともにダウンタイムを最小限に抑えます。高度なアルゴリズムを利用して根本原因を分離することで、アプリ、ネットワーク、デバイス、Wi-Fi、セキュリティ サービスのパフォーマンスを即座に分析します。エンドユーザーによるセルフサービス型のトラブルシューティングを可能にし、デジタル エクスペリエンス メトリクスに関する詳細なインサイトを提供することで、サポート チケットの量を削減します。デバイスとアプリの関係全体における統合的な診断データを使用して解決を迅速化し、ServiceNow などのツールやパブリック API との統合を通じてワークフローを合理化し、インサイトの取得と修復を自動化します。

©2025 Zscaler, Inc. All rights reserved.

アプリケーションのパフォーマンスを維持

Outlook Online、Slack、Salesforce などの SaaS アプリケーション、Jira、SAP、その他のエンタープライズ ツールなどのプライベート アプリケーション、Teams、Zoom、Webex などの UCaaS アプリケーションのパフォーマンスを監視します。さまざまな環境におけるアプリケーションの応答時間、可用性、遅延、パケット ロス、ジッター、全体的な正常性などの主要なメトリクスを包括的に可視化します。エンドポイント、ネットワーク、ISP、クラウド インフラ全体の問題を診断して解決することで、中断のないユーザー エクスペリエンスと効率的なワークフローを実現し、重要なビジネス アプリケーションのパフォーマンスを最適化します。

ネットワークに関する包括的なインサイトを入手

ネットワーク インテリジェンスを活用してインターネット パフォーマンスの基準を設定し、マルチパス接続を視覚的に分析することで、パフォーマンスが最も高い ISP と最も低い ISP を特定します。ISP のパフォーマンスの傾向に関する実用的なインサイトを取得し、ユーザー エクスペリエンスに影響を与えるボトルネックや障害を検出します。包括的なマルチパス分析を用いて、オフィス勤務のユーザーとリモート ユーザーの両方に影響する中間 ISP と接続 ISP の問題を正確に特定します。ネットワークの中断に予防的に対処し、トラフィックを最も効率的なパスに誘導することで、デジタル エクスペリエンスを最適化し、多岐にわたるネットワークにおいてアプリケーションとサービス パフォーマンスの信頼性を向上させます。

デバイスに関する詳細なインサイトを入手

デバイスの正常性スコアを活用して、組織全体で問題のあるデバイスを統合的に表示し、デバイスの問題に予防的に対応します。CPU、メモリー、Wi-Fi などの主要な正常性メトリクスを即座に把握できます。Windows および Mac 向けにはイベント検出が強化され、重要なイベントには専用ダッシュボードがあります。

デバイスのメーカー、モデル、ソフトウェア バージョンなどの詳細なインベントリー データを分析することで、互換性の確保、展開の合理化、コンプライアンスの維持を実現します。Microsoft デバイスの場合、クラッシュ統計、起動時間、起動パフォーマンスを確認し、ZDX を通じて直接問題を解決して、修復を迅速化します。一元化された可視性と実用的なインサイトにより、デバイスのパフォーマンスを最適化し、ダウンタイムを最小限に抑え、組織内のすべてのエンドポイントにわたって制御を維持できます。

グローバル インサイトを利用して デジタル エクスペリエンスを最大化

四半期ビジネス レビュー (QBR) レポートとデータ エクスプローラーを活用することで、組織のデジタル環境を把握できます。QBR レポートは、主にアプリケーション、ネットワーク、デバイス全体のパフォーマンス傾向を示すほか、エンド ユーザーのデジタル エクスペリエンスに関する重要インサイトを提供します。データ エクスプローラーはデータのさらなる分析を可能にします。カスタマイズ可能なフィルターと動的な視覚化により、パフォーマンス メトリクスを詳細に分析できます。ボトルネックの根本原因を明らかにし、最適化の機会を特定します。またカスタマイズされたレポートを作成して経営陣と共有することもできます。QBR とデータ エクスプローラーを組み合わせることで、意思決定を最適化し、IT 効率を高め、組織全体のデジタル エクスペリエンスを向上させる実用的なインサイトを提供します。

©2025 Zscaler, Inc. All rights reserved.

Zscaler Digital Experience のプラン

Zscaler Digital Experience には、以下の 3 つのエディションがあります。

ZDX は、ユーザーとクラウド アプリ間のエクスペリエンスを継続的に可視化することで、Zscaler のお客様がユーザーとアプリ間の接続で発生している問題を迅速に特定し、世界各地や地域のパフォーマンス問題を詳細に把握できるようにします。

Zscaler のエンドポイント エージェントや Zscaler Client Connector、Zscaler クラウドの継続的な測定により、IT 部門はクラウドでのエンド ユーザー エクスペリエンスを包括的かつ明確に把握することができます。

ZDX Standard ― ユーザーのデジタル エクスペリエンスやアプリのパフォーマンスの監視をこれから始める組織に最適なエディションです。

ZDX Advanced ― 高度な IT サポートが必要な組織向けの包括的なデジタル エクスペリエンス モニタリング ソリューションで、Standard プランのすべての機能と追加機能を含みます。

ZDX Advanced Plus ― 最大限の可視性、アラート、AI によるトラブルシューティング機能を備えた、究極のデジタル エクスペリエンス モニタリング ソリューションです。

ZDX を活用すれば、ユーザーから接続問題の問い合わせがあった際に、ISP、Wi-Fi 信号、アプリケーションのどれが原因かを即座に特定できます。

JEREMY BAUER 氏
Molson Coors、情報セキュリティ担当シニア ディレクター (CISO)

©2025 Zscaler, Inc. All rights reserved.

Zscaler Digital Experience の各プランの機能比較

	機能	詳細	ZDX STANDARD (ZS プラットフォーム、ZS-ZPA プラットフォーム)	ZDX ADVANCED	ZDX ADVANCED PLUS
アプリケーション モニタリング	インターネットベースの SaaS アプリ	インターネットベースの SaaS アプリケーション (Microsoft Sharpoint、Box、Salesforce など) の監視	✓	✓	✓
	インターネットベースの Web サイト / カスタム アプリ	インターネットベースのカスタム宛先 (Web サイト、Web ベースのアプリ、サード パーティーのプロキシ、デフォルト ルートに依存しないサポートを必要とする宛先など) の監視	✓	✓	✓
	プライベート アプリ (ZPA 経由)	データ センターのプライベート アプリや、ZPA や VPN 経由でアクセスする IaaS/PaaS の監視	✓	✓	✓
	Zscaler Managed Monitoring	Zscaler のロケーションからの Web およびネットワークのパフォーマンス分析	✗	✗	1,000 ユーザー、1 ロケーションにつき 1 プローブ
デバイス監視	基本的なデバイスの監視	CPU、メモリーなどを含むエンドユーザーのデバイスの正常性やデバイス イベントの監視	✓	✓	✓
	デバイスとソフトウェアのインベントリー	組織全体と各デバイスに展開されているすべてのソフトウェアとバージョンの把握	✗	✓	✓
	デバイス イベントのダッシュボード	ソフトウェアやシステムのクラッシュ (BSOD を含む) などの重大なイベント専用のダッシュボード	✗	✓	✓
	ソフトウェア プロセス レベルの監視	上位プロセスに対する経時的なモニタリング	✗	✗	✓

©2025 Zscaler, Inc. All rights reserved.

	機能	詳細	ZDX STANDARD (ZS プラットフォーム、ZS-ZPA プラットフォーム)	ZDX ADVANCED	ZDX ADVANCED PLUS
デバイス監視	ソフトウェア プロセスの分析	上位プロセスに対する経時的な分析	✗	✗	✓
	デバイスの正常性スコア	組織、部門、ユーザー グループ、拠点ごとに問題のあるデバイスを可視化	✗	✗	✓
	ハードウェア使用状況の分析	リアルタイムのデバイス使用状況とハードウェア プロファイリングの分析による、リソースの割り当ての最適化とコスト削減 (Windows/Mac デバイスの両方に対応)	✗	✗	✓
ネットワーク モニタリング	CloudPath/ Web プローブ	アプリケーションを監視するように構成されたアクティブなネットワークまたは Web 監視プローブの数	6	30 + N プローブ *	100 プローブ
	基本的な CloudPath プローブ	ユーザー、ゲートウェイ、Zscaler クラウド / ダイレクト、アプリのネットワーク経路のトレース	✓	✓	✓
	高度な CloudPath プローブ	ネットワーク経路のトレース (すべてのプローブのすべての内部 / 外部ホップのホップごとの分析、ISP/AS 番号、およびジオロケーションの詳細を含む)	✓	✓	✓
	ネットワーク インテリジェンス	パフォーマンスに影響を与える ISP の問題を継続的に監視および特定	✗	✗	✓
	SIPA サポート	アプリケーションによる元の送信元 IP の確認が可能	✓	✓	✓

©2025 Zscaler, Inc. All rights reserved.

	機能	詳細	ZDX STANDARD (ZS プラットフォーム、ZS-ZPA プラットフォーム)	ZDX ADVANCED	ZDX ADVANCED PLUS
UCaaS	UCaaS の監視 (Teams、Zoom、Webex)	Microsoft Teams、Zoom、WebEx 通話の音声監視	✗	✓	✓
ポーリング間隔	クラウド パス	ネットワーク (CloudPath) のポーリング間隔	15 分	5 分	5 分
	Web 監視	Web 監視のポーリング間隔	15 分	5 分	5 分
	デバイスの正常性	デバイス監視のポーリング間隔	15 分	5 分	5 分
統合とデータ保持	データ保持	検索と分析のためにデータが保持される日数	2 日	14 日	14 日
	Webhooks	リアルタイムのアラート用に構成可能なアクティブな Webhook 統合	✗	10	10
	API	ZDX パブリック API は ZDX データへのプログラムによるアクセスを提供	✗	✓	✓
トラブルシューティング	ZDX スコア	ユーザー、アプリ、拠点、部門、組織単位で継続的に追跡されたユーザー エクスペリエンスのパフォーマンス メトリクスの集計	✓	✓	✓
	Deep Tracing	以下を収集するアクティブなエンドユーザー デバイスのトラブルシューティング セッションの数 • Web パス、デバイス正常性メトリクス • 60 秒間隔の OS プロセスレベル データ | リモート パケット キャプチャー	✗	25	100

©2025 Zscaler, Inc. All rights reserved.

	機能	詳細	ZDX STANDARD (ZS プラットフォーム、ZS-ZPA プラットフォーム)	ZDX ADVANCED	ZDX ADVANCED PLUS
トラブルシューティング	AI 活用型の根本原因分析	パフォーマンス問題の根本原因を自動的に特定 (分析、比較)	✗	✓	✓
	インシデント ダッシュボード	アプリケーション、Zscaler のデータ センター、接続 ISP、中間 ISP、Wi-Fi で発生したインシデントをリスト化	✗	✗	✓
	アラート ルール	メールまたは Webhooks を介したリアルタイムのアラート用に構成されたアクティブなルールの数	最大 3	25	100
	動的なアラート	観測されたメトリクスの偏差に基づいてインテリジェントなアラートを設定	✗	✓	✓
	スナップショット	読み取り専用の共有可能な URL スナップショットを作成	✗	✓	✓
	セルフ サービス	エンド ユーザーに Wi-Fi と ISP の問題を予防的に通知	✗	✗	✓

©2025 Zscaler, Inc. All rights reserved.

	機能	詳細	ZDX STANDARD (ZS プラットフォーム、ZS-ZPA プラットフォーム)	ZDX ADVANCED	ZDX ADVANCED PLUS
分析	Copilot	自然言語を使用して、デバイス、ネットワーク、アプリケーションにわたりパフォーマンスへの影響を特定する AI エンジン	⊗	⊗	✓
	データ エクスプローラー	特定のアプリやユーザーのデータを分析してパフォーマンスへの影響を表示	⊗	1 アプリ、1 メトリクス	4 アプリ、4 メトリクス
	四半期ごとのビジネス レビュー (QBR) レポート	ユーザー エクスペリエンスやパフォーマンスに関するインサイトおよび重大なインシデントに関するレビューのまとめ	✓	✓	✓
	システム生成レポート	アプリケーション、ロケーション、デバイス、ネットワーク全体のメトリクスの傾向	⊗	✓	✓

* 追加のプローブは別の SKU で利用可能

Zscaler について
Zscaler (NASDAQ: ZS) は、より効率的で、俊敏性や回復性に優れたセキュアなデジタル トランスフォーメーションを加速しています。Zscaler Zero Trust Exchange™ プラットフォームは、ユーザー、デバイス、アプリケーションをどこからでも安全に接続させることで、数多くのお客様をサイバー攻撃や情報漏洩から保護しています。世界 150 拠点以上のデータ センターに分散された SSE ベースの Zero Trust Exchange™ は、世界最大のインライン型クラウド セキュリティ プラットフォームです。詳細は、**zscaler.com/jp** をご覧いただくか、Twitter で **@zscaler** をフォローしてください。

© 2025 Zscaler, Inc. All rights reserved. Zscaler™ および **zscaler.com/jp/legal/trademarks** に記載されたその他の商標は、米国および / または各国の Zscaler, Inc. における (i) 登録商標またはサービス マーク、または (ii) 商標またはサービス マークです。その他の商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。

+1 408.533.0288 **Zscaler, Inc. (HQ) • 120 Holger Way • San Jose, CA 95134** **zscaler.com/jp**

Zero Trust Everywhere